

保健体育

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい保健体育
4	大 日 本	新版 中学校保健体育
50	大 修 館	保健体育
224	学 研	新・中学保健体育

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元の流れの示し方, 1時間ごとの課題提示と学習内容の示し方
		② 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫と具体例
		③ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫及び具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高める工夫と読み物の数及び具体例
		⑤ 体験的な学習を実施するための工夫	実習や調査を実施するための資料の数と具体例
		⑥ 実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫	実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例, 実生活を振り返るチェック項目数
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列	各単元における項目の構成
		⑧ 発展的な学習に関する内容の記述の工夫	発展的な学習の扱いと記載数及び記載単元
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用	イラスト・写真の示し方, マーク等の活用
(オ)	言語活動の充実	⑩ 自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫と具体例

観点		(ア) 基礎・基本の定着
視点		①単元の目標の示し方
方法		単元の流れの示し方, 1時間ごとの課題提示と学習内容の示し方
	単元の流れの示し方	1時間ごとの課題提示と学習内容の示し方
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に「この章で学習すること」として各単元を構成する小単元の目次や主な学習内容及び課題について示している。 ○ 章扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今日の学習」で「～について学習しましょう」等の形態で学習課題や内容を提示している。 ○ 「今日の学習」「やってみよう」「本文」「考えてみよう」「生かそう」を, 本文の主な流れとして示している。
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉の「この章で学習すること」で学習の流れとして学習内容の構造図を示している。 ○ 巻頭に「この教科書で学習するみなさんへ」で, 小単元の構成を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今日の学習課題」で「どのように～すればよいのでしょうか」等の形態で, 学習課題や内容を提示してあり, 内容によって複数の課題を提示している。 ○ 主に, 「考えよう」から, 本文・資料, 「学習を活かして」までを1時間の学習の流れとして示している。
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に各単元で学習する小単元名を示している。 ○ 章扉に「～はなぜだろう」「どうすればよいのだろう」等の形態で単元に係る疑問点を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の前に「Question」で, 「～は, いつといつでしょうか」「～は, なぜでしょうか」等の形態で, 学習課題や内容にかかわる質問を提示している。 ○ 「Question」・「キーワード」から, 本文・図や表等, 「Try」・「Challenge」までを1時間の学習の流れとして示している。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示している。 ○ 章扉に, 学習内容に関連する偉人の言葉や仕事について紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ウォームアップ」で「～すればよいのでしょうか」等の形態で, 学習課題や内容にかかわる質問等を提示している。小単元によって複数の課題が提示されている。 ○ 「学習の目標」「ウォームアップ」「本文と資料」「エクササイズ」「活用しよう」を, 1時間の主な流れとして示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着	
	視点	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫
	方法	健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫と具体例
東 書	科学的な理解を図るための工夫	「自然災害による傷害の防止」における具体例
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ポイント」マークを入れ、資料を読み取るポイントを示している。 ○ 「他教科」マークを入れ、関連する内容が他の教科にもあることを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ポイント」 <ul style="list-style-type: none"> ・(阪神・淡路大震災は)地震の発生が早朝で、多くの人 在宅中だったため、家屋の倒壊による死傷者が多かった。 ・関東大震災は、地震の発生が火の使用の多い昼食時だったため、火災による死傷者が多かった。 ○ 「他教科」 <ul style="list-style-type: none"> ・理科中学校1年 火山と地震 地震の伝わり方 ・理科中学校2年 日本の気象
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ミニ知識」マークを入れ、学習に関連した情報を示している。 ○ 「資料」で、本文の内容を理解するために参考となる資料を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ミニ知識」 <ul style="list-style-type: none"> ・地震では、家具などの落下・転倒が原因となった傷害が多く発生します。身の回りの物をきちんと固定しておくだけでも、一次災害による傷害をかなり防ぐことができます。 ○ 資料「地震の驚異」「自然災害の驚異」として連続4ページにわたって写真を掲載している。
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「コラム」の中で、学習内容に関連した資料を示し、理解を助ける内容を示している。 ○ 「図や表」に吹き出しをつけ、その資料から読み取ってほしいポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「コラム」 <ul style="list-style-type: none"> ・地震発生！まず火の始末？ ・特別警報とは ・緊急地震速報の活用 ○ 「図 家具に関する地震対策」 <ul style="list-style-type: none"> ・「吹き出し」で『落ちてこない、倒れてこない、移動してこない』ように、家具を固定するか、ものを取り除くようにする」と示している。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真資料や図解等により、視覚を伴って理解できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料」 <ul style="list-style-type: none"> ・「自然災害の発生時の行動」において、発生直後、避難への準備、避難、それぞれの場面でとるべき行動を挿絵と文章で説明している。 ○ 「もっと広げる深める」 <ul style="list-style-type: none"> ・「自然災害ーそのとき、何が起きるかー」で死亡原因の割合を円グラフで示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
方法	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫及び具体例

	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫	「健康と環境」における具体例
東書	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各時間の学習内容のページ内に示し、巻末で解説している。	○ 「キーワード」：適応，適応能力，熱中症，低体温症 ・ 適応→暑さや寒さなど，外界の環境が変化したときにも，体内の環境を一定にする働き。
	○ 各章末に知識の習得を確認する「確認の問題」「活用の問題」を設けている。また，「学習を振り返ろう」では，知識の定着状況について自己評価できるようにしてある。	○ 「学習を振り返ろう」 ・ 「以下のことが理解できましたか」「私たちの体の適応能力とは，どのようなものか」等の問いに対してA，B，Cで自己評価する。
大日本	○ 習得すべき基本用語を本文中で強調表記とし，章末の「学習のまとめ」で「重要な言葉」として解説している。	○ 「重要な言葉」 ・ 適応 (P. 70) →体の調節機能をはたらかせて周りの環境の変化に体の状態を対応させること。
	○ 各章末の「学習のまとめ」で「学習の要点」を，簡潔な短文によって記載している。	○ 「学習の要点」 ・ わたしたちの体には，環境の変化に対応して体の調節機能をはたらかせ，一定の範囲内でその変化に対応する能力（適応能力）があります。
大修館	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各時間の学習内容のページ内に示し，本文中で強調表記としている。	○ 「キーワード」：体温調節，適応，適応能力，熱中症，低体温症
	○ 各章末の「学習のまとめ」で「学んだことを振り返ってみよう」として，確認できるようにしてある。	○ 「学んだことを振り返ってみよう」 ・ 「熱中症に係る要因を4つあげることができる」等の問いに対して「できる」「もう一度確かめる→p. ○○～○○」のいずれかで確認する。
学研	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各時間の学習内容のページ内に示し，本文中で強調表記としている。	○ キーワード：適応，適応能力
	○ 各章末に知識の習得を確認する「章のまとめ」を設け，「用語の確認」「基礎の完成」「活用の問題」等で振り返りができるようにしてある。	○ 「章のまとめ」 ・ 「用語の確認 10」…次の各文が表す適切な語句をア～コから選び，記号で答えなさい。 ① 環境が変化したときに，体の諸器官を働かせてその変化に対応しようとすること（ ）

【保健体育】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	興味・関心を高める工夫と読み物の数及び具体例

	興味・関心を高める工夫	内 容	読み物の数	「体育理論」における具体例
東書	○ 「読み物」として、学習内容に関連する内容の読み物資料を掲載している。	体育	6	○ 「読み物」 ・ 駅伝の始まり ・ データ分析が試合を決める ・ チーム力で獲得したメダル ・ 佐藤真海さんの言葉 ・ スポーツを通じた国際交流 ・ ソチオリンピック視察団
		心身	6	
		環境	2	
		傷害	4	
		生活	6	
大日本	○ 「トピックス」「トピックス＋プラス」として、学習内容と関連が深い話題や読み物を掲載している。	体育	11	○ 「トピックス」 ・ 最高のプレイをするために ・ 友情のメダル ・ スポーツ障害 ・ 文化としてのスポーツ ・ ワールドゲームズ ○ 「トピックス＋プラス」 ・ ニコニコペース走 ・ 筋肉の性質と運動能力 ・ 筋肉には余力がある！？
		心身	5	
		環境	8	
		傷害	4	
		生活	17	
大修館	○ 「コラム」「事例」「Topic」として、学習内容に関連した理解を助ける話や関連する話題を掲載している。	体育	10	○ 「コラム」 ・ 発展する運動やスポーツ ・ 中学生期に多いスポーツ障がい ・ スポーツ振興と法律 ・ 閉会式でのハプニング ・ スポーツを通じた世界平和キャンペーン ○ 「事例」 ・ 運動会でのかかわり方 ○ 「Topic」 ・ 日本とオリンピック・パラリンピック
		心身	9	
		環境	6	
		傷害	14	
		生活	16	
学研	○ 「コラム」として、学習内容に関連した読み物資料を掲載している。	体育	10	○ 「コラム」 ・ 不器用が生み出した最高の技術 ・ 体力測定と体力 ・ 心の緊張とスポーツ ・ レフェリー（審判員）の誕生 ・ 「クリケットじゃない」とは？ ・ スポーツの力 ・ オリンピック休戦 ・ スポーツと放送 ・ よきライバル
		心身	2	
		環境	5	
		傷害	5	
		生活	9	

【保健体育】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤体験的な学習を実施するための工夫
方法	実習や調査を実施するための資料の数と具体例

	単 元 名	資料の数		「傷害の防止」における具体例
		実習	調査	
東 書	心身の機能の発達と心の健康	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生の方法（胸骨圧迫） ・心肺蘇生の方法（気道の確保，人工呼吸） ・AED（自動体外式除細動器） ・直接圧迫止血法 ・包帯法 ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・交通環境調べ ・地震時の避難経路調べ
	健康と環境	1	0	
	傷害の防止	5	2	
	健康な生活と疾病の予防	0	3	
	体育編	0	4	
大 日 本	心身の機能の発達と心の健康	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・反応の確認から心肺蘇生のしかた ・出血があるときの外傷の応急手当（切り傷・すり傷） ・出血があるときの外傷の応急手当（鼻出血） ・直接圧迫止血法 ・包帯の巻き方 ・骨折
	健康と環境	0	0	
	傷害の防止	6	0	
	健康な生活と疾病の予防	0	0	
	体育編	0	8	
大 修 館	心身の機能の発達と心の健康	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・出血を止める練習をしよう ・包帯を巻く練習をしよう ・患部を固定する練習をしよう ・胸骨圧迫を練習してみよう ・気道確保を練習してみよう ・人工呼吸を練習してみよう ・AEDの使い方を練習してみよう ・心肺蘇生法を練習してみよう
	健康と環境	0	2	
	傷害の防止	8	0	
	健康な生活と疾病の予防	0	0	
	体育編	0	1	
学 研	心身の機能の発達と心の健康	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・通報の仕方 ・心肺蘇生法 ・直接圧迫止血法 ・包帯法 巻き包帯〈腕〉 ・包帯法 三角巾〈足を包む〉 ・包帯法 ネット包帯 ・固定法 前腕の骨折の場合 ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害による被害調べ ・自然災害への備え調べ
	健康と環境	0	3	
	傷害の防止	8	4	
	健康な生活と疾病の予防	0	9	
	体育編	0	14	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥ 実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫
方法	実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例，実生活を振り返るチェック項目数

	学習活動の示し方	「生活行動・生活習慣と健康」 における具体例	実生活を振り返るチェック項目数
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小単元の最後の「考えてみよう」，「生かそう」で，学習したことを実生活に生かしたり，調べたりする課題やロールプレイングなどの作業課題を設定している。 ○ 学習したことを日常生活に生かすよう，各章末に「日常生活に生かそう」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えてみよう」：食生活・生活習慣病 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動を終えたAさんが食事面でどのようなことに気をつける必要があるでしょうか。 ・今日の学習を踏まえて，二人にアドバイスをしてみましょう。 ○ 「日常生活に生かそう」 <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに，これからの日常生活に生かしていきたいと思ったことを書いてみましょう。 	5
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時間の最後の「学習を活かして」や「章末資料：トピックス＋プラス」で，学習内容を整理し，理解を定着させ，実生活に生かすための課題や話題を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を活かして」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活の課題を見つけ，健康によい食生活を考えてみましょう。 ・健康によい休養や睡眠のとり方を考えてみましょう。 ・1週間の運動時間をまとめてみましょう。それをもとに1日の平均運動時間を計算し，自分の運動習慣を考えてみましょう。 ○ 「章末資料：トピックス＋プラス」 <ul style="list-style-type: none"> ・身体活動 ・がんの予防 	3
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時間の最後の「Try」や「活用」，「Challenge」で，調べる，考えるなどの作業課題や実生活に当てはめて考える課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Challenge」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身体活動レベルを計算してみよう。 ・太っている？やせている？～自分の標準体重を知って正しく判断しよう～ ○ 「Try」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分がこれまでにおこなって，疲労回復に役立った方法をあげてみよう。 	2
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時間，「エクササイズ」で，考える，話し合うなどの課題を設け，最後に学習内容を活用して課題解決を行う「活用しよう」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「エクササイズ」 <ul style="list-style-type: none"> ・過去1週間，どのくらい運動したかを振り返ってみましょう。 ・ご飯1杯分のエネルギーを歩行だけで消費するとしたら，何分間歩けばよいでしょうか。 ・どのようにして休養をとっているか，振り返ってみましょう。 ○ 「活用しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中に運動を取り入れるためにどんなことができるでしょうか。 ・家の人に向けて，がん検診を勧めるメッセージカードを作ってみましょう。 	10

【保健体育】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元・題材や資料等の配列
方法	各単元における項目の構成

	心身の機能の発達と心の健康	健康と環境	傷害の防止	健康な生活と疾病の予防
東 書	<ol style="list-style-type: none"> 1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発育・発達 3 生殖機能の成熟 4 異性の尊重と性情報への対処 5 知的機能と情意機能の発達 6 社会性の発達と自己形成 7 心と体の関わり 8 欲求と欲求不満 9 ストレスへの対処と心の健康 	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境への適応能力 2 活動に適する環境 3 室内の空気の衛生的管理 4 飲料水の衛生的管理 5 生活に伴う廃棄物の衛生的管理 	<ol style="list-style-type: none"> 1 傷害の発生要因 2 交通事故の発生要因 3 交通事故の危険予測と回避 4 犯罪被害の防止 5 自然災害による危険 6 自然災害による傷害の防止 7 共に生きる〈発展〉 8 応急手当の意義と心肺蘇生 9 けがの応急手当 	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康の成り立ちと病気の発生要因 2 食生活と健康 3 運動と健康 4 休養・睡眠と健康 5 生活習慣病の予防 6 喫煙の害と健康 7 飲酒の害と健康 8 薬物乱用の害と健康 9 薬物乱用の社会への影響 10 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処 11 感染症の原因とその広がり方 12 感染症の予防 13 性感染症の予防 14 エイズの予防 15 保健・医療関係の利用 16 医薬品の利用 17 個人の健康を守る社会の取り組み
大 日 本	<ol style="list-style-type: none"> 1 体の発育・発達 2 呼吸器官・循環器官の発育・発達 3 生命を生み出す体への成熟 4 思春期の心の変化への対応 5 考える心・感動する心の発達 6 人とのかかわりと自分らしさ 7 欲求への対処 8 ストレスへの対処 9 心と体のかかわり 	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境への適応能力 2 快適な温熱条件と明るさ 3 空気の汚れと換気 4 水の役割と飲料水の条件 5 生活にともなう廃棄物の処理 6 環境問題への取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1 傷害の発生要因と防止 2 交通事故の要因と傷害の防止 3 犯罪被害の防止 4 自然災害による傷害の防止 5 応急手当の基本 6 心肺蘇生 7 出血があるときの応急手当 8 外傷の応急手当 	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康の成り立ち 2 食生活と健康 3 運動と健康 4 休養・睡眠と健康 5 生活習慣の変化と生活習慣病 6 生活習慣病の予防 7 喫煙と健康 8 飲酒と健康 9 薬物乱用と健康 10 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ 11 感染症の原因 12 感染症の予防 13 性感染症とその予防 14 エイズとその予防 15 地域での保健・医療の取り組み 16 医薬品の有効利用 17 個人の健康を守る社会の取り組み

【保健体育】

	心身の機能の発達 と心の健康	健康と環境	傷害の防止	健康な生活と 疾病の予防
大修館	<ol style="list-style-type: none"> 1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発育・発達 3 生殖にかかわる働き の成熟 4 性への関心と行動 5 心の発達と社会性 6 自己形成 7 欲求と欲求不満 8 心と体のかかわり 9 ストレス対処と心の健康 	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境の変化への体の 適応 2 快適で能率のよい環 境 3 衛生的な飲料水の供 給 4 空気の汚染と換気 5 し尿とごみの処理 6 私たちの生活と環境 問題 	<ol style="list-style-type: none"> 1 けがの原因と防止 2 交通事故によるけが の防止 3 犯罪被害の防止 4 自然災害への備えと 避難 5 応急手当の基本 6 けがの応急手当 7 心肺蘇生法 	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康を左右するもの 2 運動と健康 3 食事と健康 4 休養・睡眠と健康 5 生活習慣病とその予 防 6 喫煙と健康 7 飲酒と健康 8 薬物乱用と健康 9 感染症と病原体 10 感染症の予防 11 性感染症の予防 12 エイズの予防 13 医薬品の正しい使い 方 14 医療・保健機関とそ の利用 15 個人の健康を守る社 会の取り組み
学研	<ol style="list-style-type: none"> 1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発達 3 生殖機能の成熟 4 性とどう向き合うか 5 心の発達(1)－知的機 能と情意機能の発達－ 6 心の発達(2)－社会性 の発達－ 7 自己形成 8 欲求不満やストレス への対処 	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境の変化と適応能 力 2 活動に適した環境 3 室内の空気の条件 4 水の役割と飲料水の 確保 5 生活排水の処理 6 ごみの処理 7 環境の汚染と保全 	<ol style="list-style-type: none"> 1 傷害の原因と防止 2 交通事故の現状と原 因 3 交通事故の防止 4 犯罪被害の防止 5 自然災害に備えて 6 応急手当の意義と基 本 7 きずの手当 	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食生活と健康 4 休養・睡眠と健康 5 生活習慣病とその予 防 6 喫煙と健康 7 飲酒と健康 8 薬物乱用と健康 9 喫煙・飲酒・薬物乱用 のきっかけ 10 感染症とその予防 11 性感染症とその予防 ／エイズ 12 保健・医療機関の利用 13 医薬品の有効利用 14 共に健康に生きる社 会

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧ 発展的な学習に関する内容の記述の工夫
方法	発展的な学習の扱いと記載数及び記載単元

	発展的な学習の扱い	記載数	記載単元（記載数）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されていない内容だが、必要に応じて学習できるよう、本編と関連させ、発展的な内容の資料を掲載している。 ○ 主に章末に発展的な資料を掲載している。 	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身の発達と心の健康（1） ○ 健康と環境（2） ○ 傷害の防止（3） ○ 健康な生活と病気の予防（2） ○ 体育編（1）
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習するように定められたこと以外の内容で、さらに学習を深めることができるよう、本編と関連させ、課題や資料を掲載している。 ○ 主に章末に発展的な資料を掲載している。 	13	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身の発達と心の健康（2） ○ 健康と環境（4） ○ 健康な生活と病気の予防（2） ○ 体育編（5）
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されていない内容で、必ず学ばなければならない内容ではないが、本編と関連させた課題や資料を掲載している。 ○ 「Challenge」「コラム」などで発展的な資料を掲載している。 	18	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身の発達と心の健康（1） ○ 健康と環境（3） ○ 傷害の防止（3） ○ 健康な生活と病気の予防（7） ○ 体育編（4）
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の範囲外で、興味・関心などに応じて取り組めるよう、本編と関連させた発展的な資料を掲載している。 ○ 主に章末の「探究しようよ!」「もっと広げる深める」などで発展的な学習内容を掲載している。 	13	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康と環境（3） ○ 傷害の防止（5） ○ 健康な生活と病気の予防（4） ○ 体育編（1）

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用
方法	イラスト・写真の示し方, マーク等の活用

	イラスト・写真の示し方	マーク等の活用
東書	○ 「やってみよう」・本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」：今日の学習のキーワードを示している。 ・「ポイント」：資料を読み取るためのポイントを示している。 ・「リンク」：関連する学習内容が、他のページにあることを示している。 ・「他教科」：関連する学習内容が、他の教科にあることを示している。 ・「D」：インターネットやデジタルコンテンツなどを利用し効果的に学習できるところを示している。 ・「発展」：学習指導要領に示されていない内容だが、必要に応じて学習できるようにしている。 ○ キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。
大日本	○ 本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」：学習のポイントとなる言葉を示している。 ・「注意」：学習内容や生活の中で注意すべきことについて示している。 ・「リンク」：関連した内容を学習するページを示している。 ・「トピックス」：学習内容と関連が深い話題や読み物を示している。 ・「ミニ知識」：学習に関連した情報を紹介している。 ・「学習を生かして」：自分の生活に活かすための活動を示している。 ・「学習のまとめ」：重要な言葉と学習の要点をまとめている。 ・「発展的な学習」：さらに学習を深めることができるようにしている。
大修館	○ 本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」：項目のテーマを代表する重要な語句を示している。 ・「コラム」：理解を助ける興味深い話を紹介している。 ・「事例」：実際にあったことで参考になるものを紹介している。 ・「活用」：実際に即して考える課題を示している。 ・「実習」：実際に体を動かして身に着ける必要のある内容を示している。 ・「URL」：関連したインターネットのページを示している。 ・「発展」：関連した発展的な内容を示している。 ・「Try」：学んだことを生かして取り組めるようにしている。
学研	○ 「ウォームアップ」・本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」：重要な言葉を示している。 ・「プラス」：追加して考えたり調べたりするとよいことを示している。 ・「情報サプリ」：学習内容に関連したミニ知識を紹介している。 ・「リンク」：参考になるウェブサイトへのガイドを示している。 ・「発展」：興味・関心などに応じて取り組めるようにしている。 ・「実習」：実際に行って、方法や技術を理解・習得する学習内容を示している。 ・「協働」：教え合い学び合う活動を示している。 ・「言語」：言語活動を含む課題を示している。 ・「コラム」：学習内容に関連した読み物資料を紹介している。

【保健体育】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩自分の考えをまとめて書いたり,話したりする活動の工夫
方法	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり,話したりする活動の工夫と具体例

	活動の工夫	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健体育の学習方法として, 事例などを用いたディスカッション, 課題学習, ブレインストーミング, ロールプレイング等の解説を, イラストを交えて掲載している。 ○ 「やってみよう」「考えてみよう」で, 言語活動に係る学習活動について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・書き出してみよう。 ・話し合ってみよう。 ・記入してみよう。 ○ 「考えてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・説明してみよう。 ・アドバイスしてあげよう。 ・理由を考えてみよう。
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事例を用いたロールプレイングを, 1時間の学習内容の中で資料や学習シートを掲載している。 ○ 「学習を活かして」で, 言語活動に係る学習活動について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を活かして」 <ul style="list-style-type: none"> ・名称をあげてみよう。 ・改善策を考えてみよう。 ・まとめてみよう。 ・説明してみよう。 ・スローガンをつくってみよう。
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健体育の学び方として, ブレインストーミング, ディスカッション, 課題学習, コンピューターの活用等の解説を, イラストを交えて掲載している。 ○ 「Try」「Challenge」で, 言語活動に係る学習活動について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Try」 <ul style="list-style-type: none"> ・書きだしてみよう。 ・理由をあげてみよう。 ・話しあってみよう。 ・意見を出しあってみよう。 ○ 「Challenge」 <ul style="list-style-type: none"> ・予測してみよう。 ・イメージを書き出してみよう。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習方法として, 事例を用いたディスカッション, ブレインストーミング, 課題学習, 調査方法等の解説を掲載している。 ○ 「活用しよう」「ウォームアップ」「エクササイズ」で, 言語活動に係る学習活動について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「活用しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・簡単にまとめてみよう。 ・学習した言葉を使って説明してみよう。 ・書き出してみよう。 ○ 「ウォーミングアップ」 <ul style="list-style-type: none"> ・説明する文を書いてみよう。 ・できるだけ多く挙げてみよう。 ○ 「エクササイズ」 <ul style="list-style-type: none"> ・意見を出し合ってみよう。